

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生生理Ⅲ・心臓		佐野 常男		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	前期	水曜日	4限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による授業である。				
学修内容	心臓の構造、心臓の弁、肺循環、体循環、刺激伝導系、心電図				
到達目標	<p>正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。</p> <p>心臓の形態と心収縮の仕組みについて理解する。</p>				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第4章 血液の循環とその調節 1. 心臓の構造 心臓の位置と外形、心臓の4つの部屋と4つの弁、心臓壁 心臓の血管と神経(冠動脈)
2	2. 心臓の拍出機能 1) 刺激伝導系 2) 心電図(不整脈、心停止とみなされる4つの状態)
3	3) 心臓の収縮 心拍出量と血圧
4	4) 心室の圧・容積関係 フランクスターリングの心臓の法則 5) 心音と心雑音
5	まとめ 終講試験
履修上の要件	特になし 循環器の疾患については疾病と治療Ⅱで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 循環器・神経とあわせて解剖生理学Ⅲの単位とする。
備考	